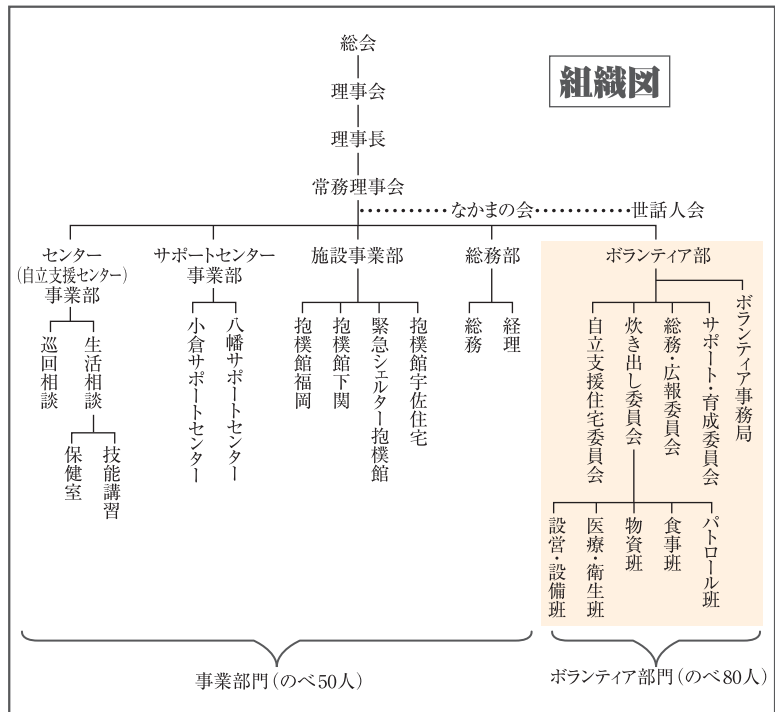


あなたも わしも おんなじいのち

—北九州ホームレス支援機構の20年—

ホームレス問題を考える 9



NPO 法人北九州ホームレス支援機構（以下、支援機構）の活動は、1988年の12月、ほんの一握りの人々からはじまりました。厳寒期に入ったのに路上で生き暮れている人がいる、それを見逃ごしにできない人たちが行動を起こしたのです。

それから21年が経ち、支援の輪は広がりつつあります。しかしバブルの崩壊以降、新自由主義の下での格差社会の広がりと共に、自己責任論が蔓延りました。結果、地域の中のたすけあい・支えあいや人と人の結びつきは希薄になり、若年層のホームレス者の増加、という状況にまで至っているというのが実状です。

そんな中、支援機構に携わる人々は、あのスタートの日と同じように路上で困窮している人たちに温かい手を差しのべ続けています。

今号は支援機構の活動の日々を紹介します。

炊き出し

2009年10月23日、北九州市小倉北区勝山公園の炊き出しには80数人のホームレス者とそれを上回る数のボランティアが集った。夜の8時、手作りのお弁当、福祉施設からの豚汁、グリーンコープからの規格外のりんごバナナ、それにかぜ薬や胃薬などの医薬品、希望者には衣類や毛布が配られる。側ではドクターカーでの健診も行われる。一角では散髪風景も見られる。現場スタッフはマスクや韓国からの視察グループへの対応にも追われ、はじまりから終わりまでの小1時間、公園の一角にはさながら小さな祭り



ミッション

支援機構組織図は左上のようになっているが、その働きは三部門に大別される。第一部門は、「いのちを守る基礎的支援」。炊き出し、夜回り、そして「追い出し」や「襲撃」対応などさまざまな過酷な環境からホームレス者の生命を守る活動を行う。緊急の場合は救急車を呼び病院まで付き添う。「ひとりの路上死も出さない」覚悟で臨む。

ボランティアリズム

支援機構に貫かれているのはボランティアリズムだ。誰に言われてするわけでもなく、自発的に関わる。支援機構の組織図上ではボランティア部門の比率は大きくないが、発足以来、この部門は多くのボランティア会員のマンパワーに支えられてきた。その80人の人たちの中には事業部門のスタッフとしてかかわっている人も多い。例えば、自立支援センター北九州の有給スタッフは常時1人当たり

人生を支援する

自立を果たした人が再び路上生活に戻ってしまうことがある。全国のホームレス支援団体の中で、北九州ホームレス支援機構はこの



割合が驚異的に低い（自立継続率94%）。理由は第三部門の充実である。公的支援は、自立支援センター北九州においてのみ、自立までと自立後1年間公的な支援が保障されているものの、それ以外の公的支援はない。いずれにしても、重要なのは自立後のサポートのあり方だ。支援機構ではあらゆる場面でサポート体制をとっている。一度ホームレスに陥った人に物理的にハウス（家）を提供するだけでは不十分で、ホーム（人との関係・絆）の回復が不可欠だ。それはその人が亡くなるまでの長期戦となってくる。真の支援とは、自立支援に留まらず人生支援となる。

代表の奥田知志さんは言う。「自立と簡単に言うが、彼らを路上へととはじき出した社会にもう一度帰るといふのはとても難しい。彼らが受け入れられる地域を創っていかねば」。人と人とが柔らかに関わりあえる地域創りが急務だ。

※福岡市で開業する小宮医師がドクターカーを自前で調達し、北九州市、福岡市、久留米市でホームレス者の健診を行っている

- 1988/12 北九州越冬実行委員会発足
カトリック教会関係者と福岡日雇労働組合員による野宿労働者の調査をおにぎり持参で行った
- 1990/06 事務局体制が整備される
- 1990/12 襲撃事件多発 2小学校、2中学校に抗議
- 1993/03 通年パトロール開始。医療関係者との懇談会実施
- 1994/11 越冬支援ライブはじまる
- 1996/01 小倉での拠点炊き出し方式はじまる
- 1997/09 「北九州越冬実行委員会を支える会」の発足
- 2000/07 NPO法人の設立を決定し、名称を「北九州ホームレス支援機構」とする
- 2000/08 北九州市「(市役所前広場から)ホームレス炊き出し排除」
- 2000/11 「NPO法人北九州ホームレス支援機構」認証
- 2001/03 八幡東区に「自立支援住宅」設置
- 2001/04 北九州市保健福祉局との対話はじまる
- 2001/05 自立支援住宅入居はじまる
- 2002/03 みんなの家「なごみ」開設。支援住宅での自立支援プログラムはじまる
- 2002/07 「ホームレスの自立の支援等に関する特別措置法」成立
- 2002/12 自立者による互助組織「なかまの会」発足
- 2003/01 「ホームレスの実態に関する全国調査」に協力
- 2003/05 厚生労働省より「無料職業紹介事業」を認可される
- 2003/07 「北九州市におけるホームレス問題の抜本的解決を求める市民集会」を開催し要望書を北九州市に提出
- 2003/12 「福岡県ホームレス支援団体連合会」結成
- 2004/02 「北九州市ホームレス巡回相談指導事業」を委託される
- 2004/09 「ホームレス自立支援センター・北九州」開所。生活相談指導事業を委託される(2009年4月より運営のすべてを委託)
- 2004/09 福岡県保健福祉局監査保護課より担い手育成事業を委託
- 2004/09 奥田理事長が第34回毎日社会福祉顕彰受賞
- 2004/10 厚生労働省より技能講習事業を委託される
- 2004/12 国税庁より「認定NPO法人」に認定される
- 2005/04 自立生活サポートセンター発足
- 2005/06 「ホームレス支援法律家の会」発足
- 2006/04 長期入院者退院促進事業・無料低額宿泊施設「抱樸館海老津」開所(福岡県の委託事業)
- 2006/10 (株)サンキュードラッグによる募金活動開始
- 2007/01 自立支援住宅「抱樸館宇佐町」開所
- 2007/04 自立生活援助ホーム「抱樸館下関」開所
- 2007/06 ホームレス支援全国ネットワーク発足(奥田理事長代表に就任)(現在45団体)
- 2007/07 九州ホームレス支援団体連合会発足(8団体/代表:奥田知志 事務局は支援機構)
- 2008/09 社会福祉法人グリーンコープと協働で福岡市で巡回相談をはじめ
- 2009/02 北九州市内にて「緊急シェルター抱樸館」を開所
- 2009/02 「ふくおか社会貢献活動表彰(NPO・ボランティア団体と企業との協働部門)」を(株)サンキュードラッグと共に受賞
- 2009/03 奥田理事長がNHK番組「プロフェッショナル」に出演
- 2009/10 浄土宗主催「第3回 共生・地域文化大賞」で大賞受賞